

芸術表現における声と身体をめぐる基礎的研究 —舞台芸術・古典芸能・現代美術—

松本 和也（非文字資料研究センター 研究員／研究班代表）

このプロジェクトは、2022年度【準備C班】「芸術表現における声と身体をめぐる基礎的研究—舞台芸術・古典芸能・現代美術」の発展的延長線上において構想したものである。

2022年度の活動においては、現代演劇や薩摩琵琶など、いずれも実演者を招聘した講演を企画し、そこから多くの知見を得ることができた。新たに迎えたメンバーも含めて、こうした知見を共有しつつ、それぞれの問題関心・専門性をクロスさせることで、ひきつづきパフォーマンス（歌舞伎、近代劇、舞踊、落語、映画、現代美術ほか）における身体技法に照準をあわせ、とりわけ「声と身体」に特に注目した研究を多角的に展開していく。



三代豊国画「豊国漫画図絵 忠信利平」

このプロジェクトでは、いわゆる「生のパフォーマンス」にくわえ、それらの記録資料（紙・映像媒体）なども視野に収めながら、近代日本におけるさまざまな「声と身体」が、歴史やジャンルの制約／可能性の中でどのように表現／受容されたか、調査・分析・考察を行っていきたい。



三代歌川豊国画「六歌仙」